

2019年12月9日

プレスリリース

エヌエヌ生命、身近な社会的課題を解決するビジネスアイデアを考える**教育プログラム「Social Innovation Challenge****（ソーシャル・イノベーション・チャレンジ）」を沖縄県内で初めて開催**

生命保険を通じて日本の中小企業とその経営者を支えるエヌエヌ生命保険株式会社（代表取締役社長：フランク・エイシク、本社：東京都千代田区、以下「エヌエヌ生命」）は、学生自らが身近な社会的課題を解決するビジネスアイデアを考えるジュニア・アチーブメント日本の教育プログラム「Social Innovation Challenge（ソーシャル・イノベーション・チャレンジ）」を12月14日（土）と15日（日）に沖縄県立名護高等学校（沖縄県名護市）で開催します。沖縄県での同プログラムの開催は今回が初となります。

沖縄県は開業率が全国で最も高い*一方、子どもの貧困率が比較的高い県でもあります。エヌエヌ生命は同プログラムを通じ沖縄県においてビジネスで社会的な問題を解決するソーシャルビジネスの考え方に触れる機会を子どもたちに提供し、将来、経営者となり、地域の問題解決に貢献することを志す子どもたちが増えることを支援します。（*中小企業庁「2019年版中小企業白書」より）

「Social Innovation Challenge（ソーシャル・イノベーション・チャレンジ）」は、高校生が自ら身の回りにおける課題を見つけ、ソーシャルビジネスとして解決すべくアイデアを国内外の高校生たちと競うコンテスト「Social Innovation Relay（ソーシャル・イノベーション・リレー）」から派生したものです。参加する高校生たちは、1日半をかけて、身近な社会的課題を発見し、その課題をどうビジネスで解決できるか考え、自分たちが発案したビジネスアイデアをまとめ、プレゼンテーションすることに挑戦します。その過程においては、エヌエヌ生命社員がメンターとして高校生をサポートします。

中小企業サポーター・エヌエヌ生命は、「次世代への支援」に注力しており、新しい企業経営に挑み、日本の中小企業の未来を支えていく後継者や若手経営者を支援しています。また、エヌエヌ生命は、2015年より沖縄県内で開催されるNAHAマラソンに特別協賛社として参加しており、同大会内で毎年チャリティランナーを募り、完走したチャリティランナー1人につき1万円を、エヌエヌ生命から沖縄県社会福祉協議会に寄付金として贈呈、沖縄県内の児童養護施設（県内8カ所）で暮らす子どもたちの学習支援に役立てていただいています。

以上

本件に関する問い合わせ先

エヌエヌ生命保険株式会社 広報部 徐（じょ）、原

TEL: 080-7992-5343, 070-1640-6661 Email: ML-IL-JP-CCA@nnlife.co.jp

エヌエヌ生命は、オランダにルーツを持ち、170年におよぶ伝統を誇るNNグループの一員です。NNグループは、欧州および日本を主な拠点とし、18カ国にわたり、保険および資産運用事業を展開しています。その名は、源流である「ナショナル・ネーデルランデン」に由来しています。エヌエヌ生命は、1986年に日本で初めてのヨーロッパ生まれの生命保険会社として営業を開始して以来、30年以上にわたり、中小企業とその経営者が財務や財産の面で安定した将来を確保できるよう支援しています。

【開催概要】

<共催>

エヌエヌ生命保険株式会社
公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

<日時>

2019年12月14日（土）8時半～12時
2019年12月15日（日）8時半～16時

<会場>

沖縄県立名護高等学校（沖縄県名護市）

<参加者>

名護高等学校の学生（1年～3年、計約20名）

【ご参考】

「Social Innovation Relay（ソーシャル・イノベーション・リレー、SIR）」について

「SIR」は、高校生のためのソーシャルビジネス企画のコンテスト形式の教育プログラムです。高校生が自ら情報収集・分析をして社会的課題を見つけ、その解決方法としての「ソーシャルビジネス」のアイデアをチームごとに競い合うもので、アクティブラーニング形態をとっています。日本は昨年よりこのコンテストに参加しており、国内大会での優勝チームはオンラインの国際大会へ進出。国際大会で見事優勝したチームは、ヨーロッパで開催されるSIR 修了生カンファレンスに招待される予定です。

ジュニア・アチーブメントについて

1919年に米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しています。日本本部は1995年に設立。以来、教材を導入する学校が全国に拡大しています。社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが自身の確たる意志で進路や将来を選択・設計できるよう、「社会の仕組み」や「経済の動き」を正しく理解する機会を提供し、基本的資質（主体的に社会で自立できる力）を育む支援を続けています。詳しくは、ウェブサイト www.ja-japan.org をご参照下さい。

エヌエヌ生命の社会貢献活動「未来の社長」について

エヌエヌ生命は、「未来の社長」を社会貢献活動のテーマに据えています。日本の中小企業を支える生命保険会社として、次世代を継ぐ学生や子どもたちに教育機会や起業・経営に関する育成機会の創出を目指しています。「SIR」の取り組みのほか、NAHA マラソンでのエヌエヌ・チャリティランナーによる沖縄の児童養護施設への教育支援および次世代の経営者に向けた「家業イノベーション・ラボ」のプログラムを展開しております。詳しくは [こちら](#) をご覧ください。